

---

---

# TXS型 ケミカルタンク

## 取扱説明書

---

---



ご使用前に必ずお読み下さい

### お願い

- 本取扱説明書は必ず使用される担当者の手元に届くようにご配慮下さい。
- 本取扱説明書に記載されている事項を熟読した上で、正しい取扱いをして頂き、機器の機能を十分に発揮させて下さい。
- お読みになった本取扱説明書はいつでも見られるところに、大切に保管して下さい。

目 次	
1 はじめに	P 3
2 △ 安全にお使いいただくために	P 3
3 使用条件	P 4
4 取扱い上の注意	P 4
5 納入時のご確認	P 5
6 タンク設置場所のご確認	P 5
7 タンク寸法図	P 6
8 タンク固定方法	P 7
9 各部の操作方法	P 7
10 仕 様	P 9
11 保 守 点 検	P 10
12 保証について	P 10

改訂履歴

平成 27 年 3 月	HE1-TE0187-02	サクションバルブ分解図 追記
平成 25 年 5 月	HE1-TE0187-01	誤記訂正
平成 25 年 2 月	HE1-TE0187-00	新規作成
新規作成・改訂年月	取扱説明書番号	新規作成・改訂内容

## 1.はじめに

この度はT X S型ケミカルタンクをご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書は、ケミカルタンクを正しくご使用いただくための取扱い、留意点について述べてあります。誤った取扱いは、思わぬ事故を引き起こしますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読され、正しくご使用ください。

なお、本取扱説明書はご使用になるお客様のお手元に必ず届くようご配慮お願いいたします。

## 2.⚠安全にお使いいただくために

据付・運転・保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項にすべてについて熟読してからご使用ください。

本取扱説明書では安全に正しく取り扱っていただくため、内容を次のように区分して表示しています。

どれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

### ⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、人が傷害を受ける可能性、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### お願い

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起これて、人が傷害を受ける可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### 3.使用条件

#### △ 注意

- このタンクは液体を貯槽する用途以外にはご使用しないでください。事故の原因となります。
- 直射日光を避け、雨風にさらされないようにしてください。
- 比重の重い薬品を使用すると変形する場合があります。液比重1.3を越えないようにしてください。

### 4.取扱い上のご注意

#### △ 警告

- 子供や管理者以外の人の手にふれない場所に設置して下さい。
- 薬液を出したり、入れたりする時はタンクに加圧、減圧がおこらない様にしてください。破損や破裂の原因になります。
- 他の薬液を混合すると、有害なガスを発生する恐れのある薬品のタンク内での混合は充分注意してください。

#### △ 注意

- タンク内で温度が40℃以上に発熱する高濃度薬品の希釈、貯蔵はタンクが変形、破損する危険がありますので絶対行わないでください。
- タンクに衝撃を与えたり、破損や異常が見られた場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- 薬液投入の時、作業時には必ず使用している薬液に応じた保護具（ゴム手袋、マスク、保護メガネ、耐薬液作業服など）を着用してください。



- タンクは樹脂製ですので近くで火気は使用しないでください。変形、破損、火事の原因になります。
- 薬品の入れ間違いを防ぐため、必ず薬品を確認してから投入して下さい。
- 紫外線及び経年劣化による劣化又は異常が見られた場合は、直ちに使用を中止して販売店または当社にご連絡ください。破損または事故の原因となります。
- 薬品投入後に異常が見られた場合、即座に投入を中止し販売店または当社にご連絡ください。

#### お願い

- タンク内で薬品を希釈する場合はその薬品に対する希釈方法（手順・濃度）を守ってください。

## 5.納入時の確認

- タンク納入時、梱包を荷ほどきし運送中の振動や衝撃で破損が無い確認してください。
  - ご注文通りの仕様タンクかを確認してください。
  - 指示された薬品シールが貼られてあるかを確認してください。
  - ネジ類が緩んだり、外れていないかを確認してください。
- ※細心の注意を払って出荷しておりますが、万一お気付きの点がございましたら、販売店または当社までお知らせください。

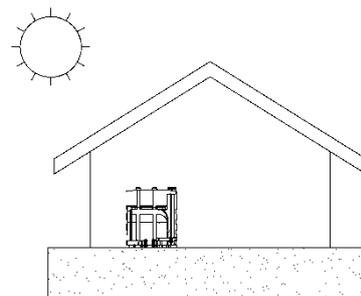
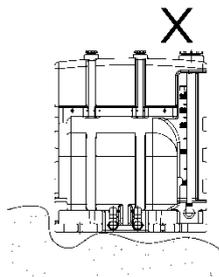
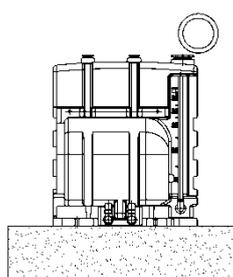
## 6.タンク設置場所のご確認

### △ 警告

- 管理者以外の子供の手に触れない場所に設置してください。
- 建屋内に設置する場合は、人体に害するガスが発生する薬品もありますので、換気や風通りを良くしてください。（塩素ガス対策はしておりません）
- 液比重は1.3を越えないようにしてください。
- 比重限度を超えた溶液を入れるとタンクが破損し、人身事故につながる恐れもあります。

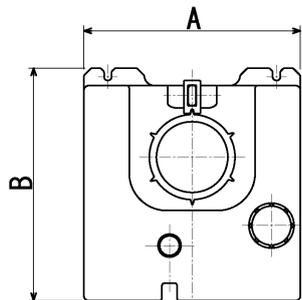
### △ 注意

- タンクは突起物のない平面に設置してください。
- 傾いた場所や地盤の軟らかい不安定な場所に設置すると転倒する恐れがありますので正しく設置してください。
- 温度の上がる場所には設置しないでください。
- 直射日光を避け、雨風にさらされない場所に設置してください。
- アングル架台に乗せる場合、タンクの底板全面に補強を必ず設けてください。
- 寒冷地で薬品を貯蔵する場合、冬季にタンクや配管内で薬液が凍結し、タンク及びその周辺を破損することがありますので、加温装置や保温装置を必ず取り付けてください。
- 衝撃や振動のない場所に設置してください。
- 保守点検がしやすいよう周囲に十分なスペースを取ってください。

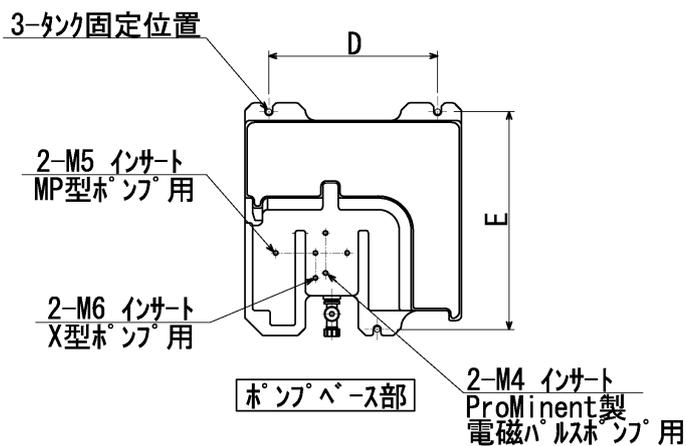
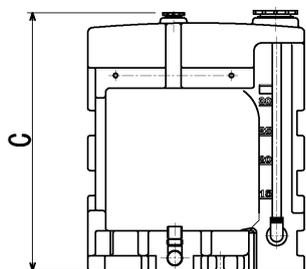


## 7.タンク寸法図

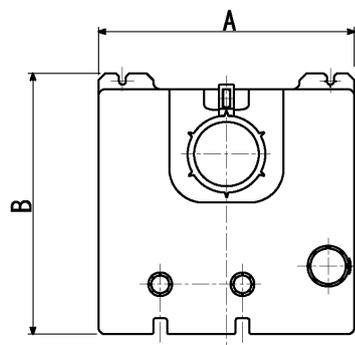
### TXS-25 型 寸法図



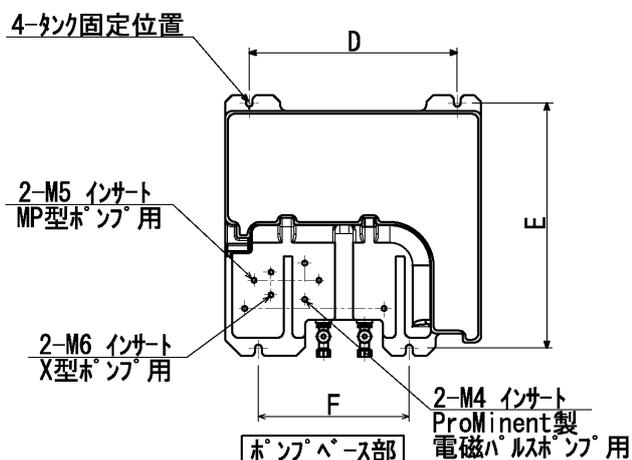
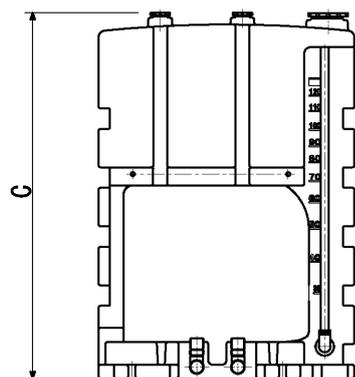
型式	A	B	C	D	E
TXS-25	430	465	(515)	(335)	(435)



### TXS-50,100 型 寸法図



型式	A	B	C	D	E	F
TXS-50	560	465	(670)	(455)	(430)	(305)
TXS-100	560	575	(805)	(455)	(540)	(330)



## 8.タンク固定方法

はじめに、タンク固定位置にアンカーボルトを施工します。

(タンク寸法図をご参照ください)

タンクを設置後、付属のタンク固定板をワッシャーにしてナットで締付けます。

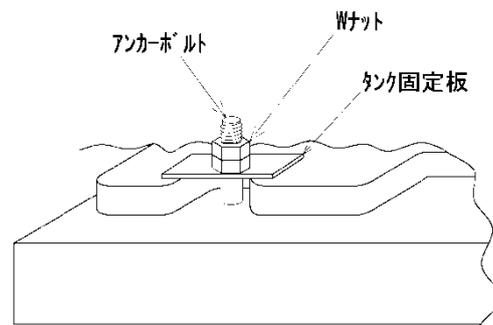
緩み止めのため、ダブルナットで固定してください。

ナットの締付トルクは  $1.0[\text{N} \cdot \text{m}]$  を目安に締め付けてください。

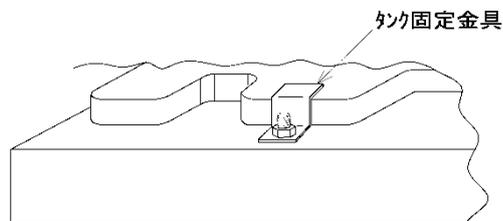
強く締め付けすぎると、タンクが変形・破損する可能性があります。

アンカーボルト、ダブルナットはタンクの標準付属品ではありません。

※別売でタンクを押え付けるタイプの固定金具も用意しております。(SUS 製)



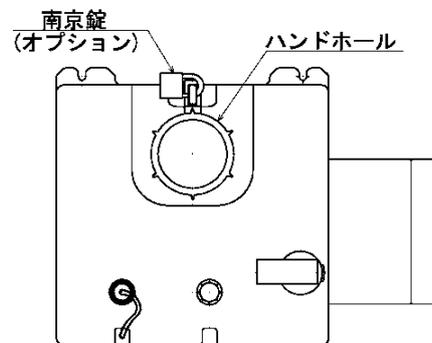
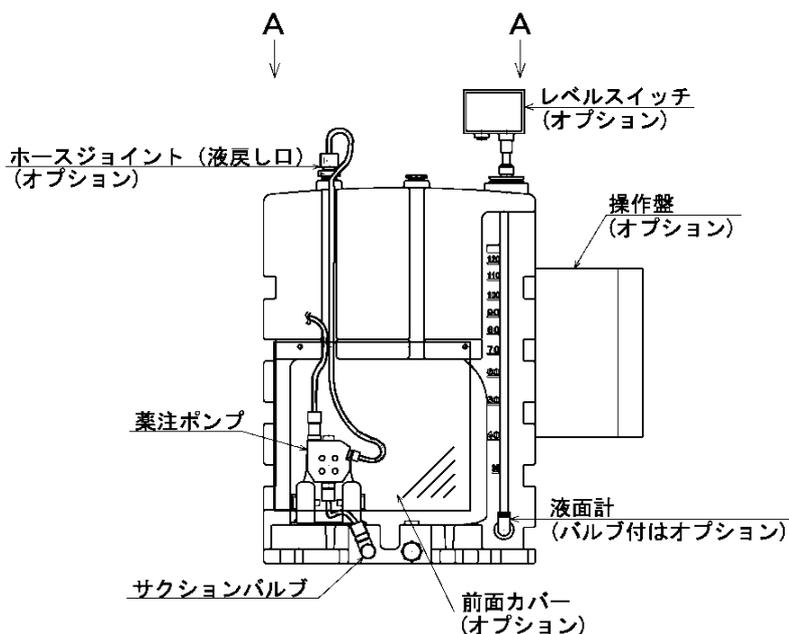
< タンク固定方法 (標準) >



< タンク固定方法 (オプション) >

## 9.各部の操作方法

各部の名称



A-A 矢視図

○液面計

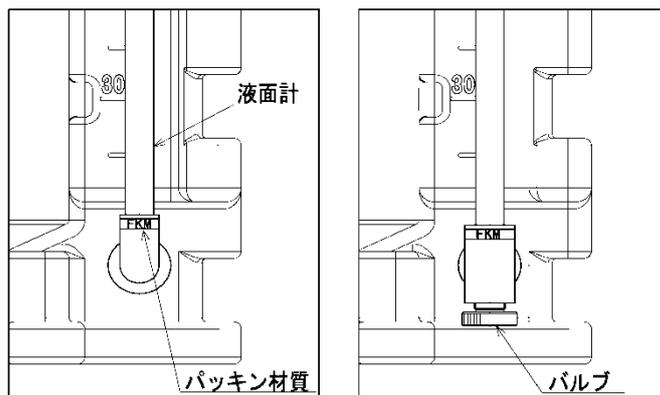
液面計にはパッキンの材質を明記したシールを張り付けています。薬液を投入する前に、ご指定されたパッキン材質になっているかご確認ください。

オプションのバルブ付液面計は、バルブを「閉」にして出荷しています。

薬液の投入後バルブを「開」方向に回し、液面計内に薬液が流れ込んだところで止めてください。

**△ 注意**

- バルブを「開」方向に2回転以上回すと、薬液が流出する可能性がありますので、十分にご注意ください。

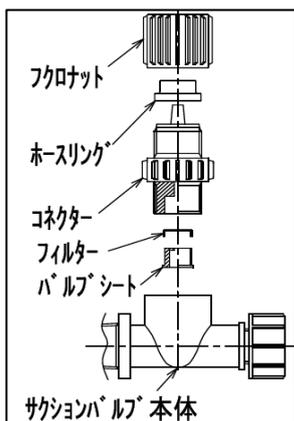


標準

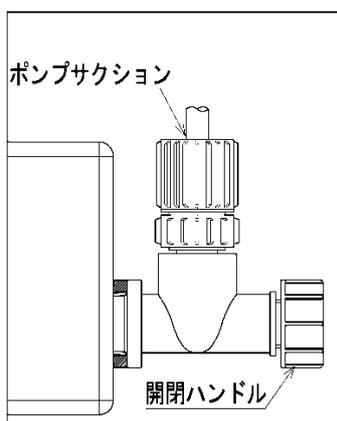
オプション  
バルブ付

○サクシヨンバルブ

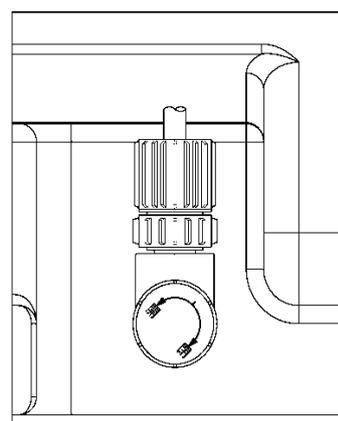
タンクに薬液を投入した後、サクシヨンバルブ・液面計の接続口などから液漏れが無いことを確認してください。ポンプへ薬液を送るため、サクシヨンバルブの開閉ハンドルを「開」方向へ少しずつ回転させます。サクシヨンホース内に薬液が流れ始めた位置から、さらに2～3回転させたところで止めておきます。なお、ポンプサクシヨン側のコネクターには、ポンプへの異物流入を防ぐためフィルターが入っています。



<サクシヨンバルブ コネクター分解図>



< 開閉ハンドル (ドレン兼用) >



**△ 注意**

- サクシヨンバルブはドレン兼用となっており、開閉ハンドルを全開にすると、開閉ハンドル口より薬液が流出します。

## 10.仕様

### タンク仕様表

タンク型式	有効容量 [L]	質量 [kg]	タンク材質
TXS-25	30	約 7	ポリエチレン (LLDPE)
TXS-50	60	約 12	
TXS-100	120	約 18	

### 標準付属品

No.	品名	材質	数量	備考
1	液面計	PVC/PE	1	パッキン材質 FKM or EPDM ※1
2	ハンドホール	PE	1	
3	施錠ピース	PE	1	
4	サクシヨンバルブ	PVC	1(2)	TXS-50,100 でポンプ 2 台設置時は 2 ケ
5	プラグ G1/2	PE	1(2)	液戻り口用 TXS-50,100 は 2 ケ
6	プラグ G2	PE	1	レベルスイッチ座用
7	タンク固定板	SUS	3(4)	TXS-50,100 は 4 ケ

※1 使用する薬液に合わせた材質を選定してください

### オプション

No.	品名	材質	数量	備考
1	バルブ付液面計	PVC/PE	1	パッキン材質 FKM or EPDM ※2
2	前面カバー	PVC	1	色;スモークブラウン
3	ポンプベース	PVC	1	MP 型ポンプ 2 台用 ※3
4	ポンプベース	PVC	1	ProMinent 製ポンプ 2 台用 ※3
5	TL 型レベルスイッチ	PVC	1	
6	FS 型レベルスイッチ	PVC	1	接液部材質をご指定ください PP or PVDF
7	ホースジョイント	PVC	1(2)	液戻し口用 ホース径をご指定ください ※4
8	タンク固定金具	SUS	3(4)	TXS-50,100 は 4 ケ
9	操作盤	ABS	1	仕様は弊社にお問い合わせください
10	南京錠	黄銅	1	ハンドホール用

※2 使用する薬液に合わせた材質を選定してください

※3 TXS-50,100 は

ポンプベースを使用すると、MP 型ポンプ、又は ProMinent 製ポンプを 2 台設置できます

MP 型ポンプと ProMinent 製ポンプ 1 台ずつの組合せはできません

※4 TXS-50,100 は 2 ケ所に取り付けできます

## 11.保守点検

### △ 警告

- 薬品を間違えると爆発や有毒ガスが発生し大事故の原因となることがあります。

### △ 注意

- 点検や薬液投入の際は必ず使用している薬液に応じた保護具(ゴム手袋、マスク、保護メガネ、耐薬品作業服など)を着用してください。

### お願い

- タンク内部や継手類などは3ヶ月に1回点検を行ってください。
- タンクのひび割れ、変形、変色などがいないか確認してください。
- タンク継手部分より液漏れがないか定期的に確認してください。
- タンクの据付状況に変化(土台等)はないかを確認してください。
- 薬液タンクの液量は充分入っているかを確認してください。不足していれば補給してください。
- タンク内に不純物、ゴミ等がたまっていないかを確認してください。

## 12.保証について

- 保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間中で正常なご使用にもかかわらず当社の設計・製作上の不備により故障や破損が生じた場合には、無料修理または交換させていただきます。
- 本製品の保証は日本国内で使用される場合に限りです。

※デザイン・仕様等は改良のため予告なく変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。



**TOHKEMY CORPORATION**  
<http://www.tohkemy.co.jp>

本社 〒532-0021 大阪市淀川区田川北1丁目12番11号  
外国課 電話(代) (06) 6301-6460 FAX (06) 6308-3022

#### ケミカルポンプ事業部

東京営業部 電話(代) (03) 5817-2022 FAX (03) 5817-2035  
大阪営業部 電話(代) (06) 6302-4953 FAX (06) 6308-7911  
名古屋営業部 電話(代) (052) 752-2511 FAX (052) 752-2633  
金沢出張所 電話(代) (076) 234-1780 FAX (076) 234-7571

#### ろ過事業部

東京営業部 電話(代) (03) 5817-2025 FAX (03) 5817-2033  
大阪営業部 電話(代) (06) 6301-5627 FAX (06) 6308-7559

#### 機器事業部

機器営業部 電話(代) (03) 5817-2028 FAX (03) 5817-2034  
仙台営業所 電話(代) (022) 297-2371 FAX (022) 297-2372  
北関東営業所 電話(代) (027) 330-5670 FAX (027) 330-5672  
札幌出張所 電話(代) (011) 866-1866 FAX (011) 866-9391

#### 西部事業部

九州営業部 電話(代) (092) 473-4590 FAX (092) 473-4599  
広島営業所 電話(代) (082) 568-7877 FAX (082) 568-7878  
岡山出張所 電話(代) (086) 245-1152 FAX (086) 245-1085  
宮崎出張所 電話(代) (0985) 29-9388 FAX (0985) 28-0918

取扱説明書番号

HE1-TE0187-00